

「KSC」北小河内 セーフコミュニティたより

活動総括

会長 平出政敏

日頃は、区の安全、安心な地域づくりにも多大なご理解をいただき、関心を持って種々活動に積極的なご協力を頂いておりますことを誠に有難く、心から感謝しお礼申し上げます。平成28年度の活動も余すところ三ヶ月程となり、計画した諸活動の総括をする頃となりました。ご承知のとおり区

の安全、安心の拠点はKSC組織を中心とした各班にさせて頂きますが、会長の立場から今年一年の活動を振り返り、今後更なる安全・安心な地域づくりを心がけ継続していききたいと思っております。

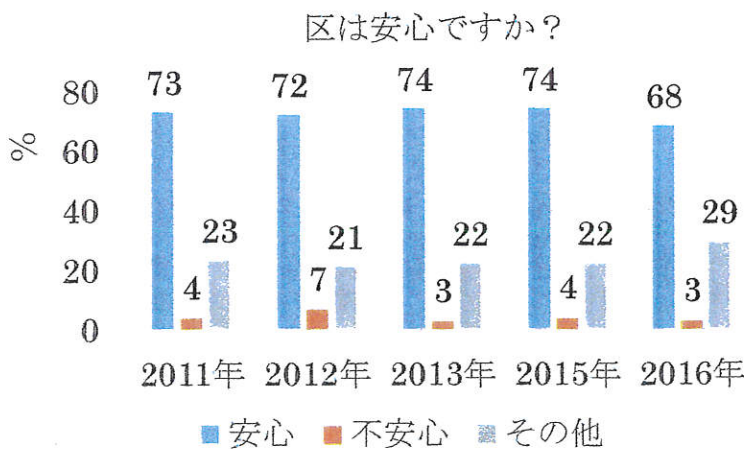
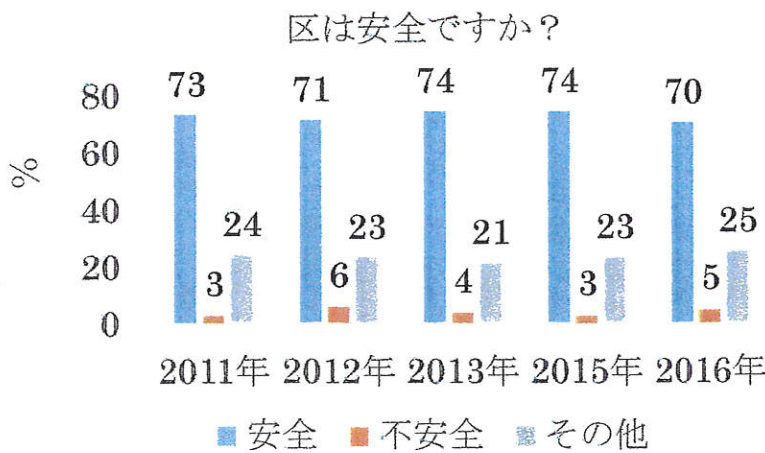
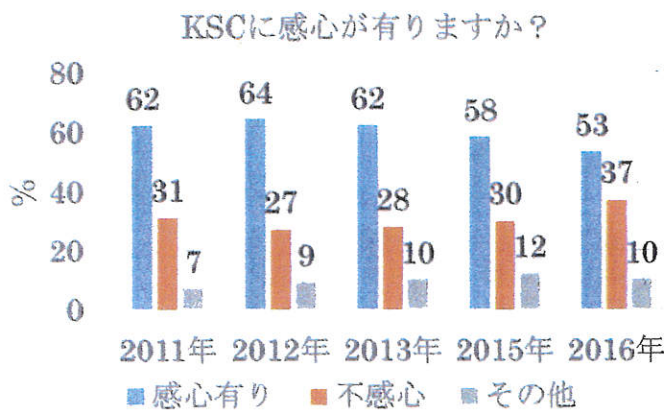
この事は編に、区民住民の安全安心に対する熱意と行動力あつての賜物と、心から感謝と敬意を申し上げます。又、このことに合つたつては、設置条件の待合用地確保にあたり周辺地権者様のご理解とご協力あつての事を感謝し、忘れてはならない事とも思っております。区民に代わつて心から感謝とお礼を申し上げます。設置は、早ければ平成二十八年度中、遅くても二

十九年度事業として推進されるこの報告を頂いておられるの事以外にも渋滞の解消、歩道の設置等区内の安全安心対策としての課題も多々あることは承知しております。今後ともKSCを中心とした組織活動を活かし、区民住民のご理解と熱意と行動力で更なる安全安心の地域となります事を心よりお願いし、ご祈念申し上げます。

5年間の統計の中でそれぞれ一番低い値が示されました。昨年からは、学校への歩道設置や押ボタン信号機設置と署名運動にご協力いただき、また命のケーブル・感震ブレイカー等を区民の身近な問題を活動をした二年間でしたが、まだまだ活動の仕方にも問題があると考え

さて、今年一月に発生した漆戸地籍での交通人身事故は、記憶に新しいところでありませんが、この事故を契機に交通の安全安心対策について、KSC組織を中心とした活動の輪が広がり

アンケート結果 ご協力ありがとうございました



アンケートから

事務局

校への歩道設置や押ボタン信号機設置と署名運動にご協力いただき、また命のケーブル・感震ブレイカー等を区民の身近な問題を活動をした二年間でしたが、まだまだ活動の仕方にも問題があると考え

平成28年12月
KSC事務局
会長平出政敏

信号機設置に向けて

待合場所の工事が始まる

信号機設置に向けて区民の署名が大きな後押しとなりました。北小河内区・小出嶋町議又白鳥町長・垣内県議の強力な働きにより本年度か来年度には設置される運びとなりました。驚異

的な速さです。今、信号機の設置には必要条件である信号の待合場所の工事が町の事業で進んでします。区民の結集した強さに驚きながら関係された皆様に感謝申し上げます。



各班長の報告

企画班

丸山 巖

先日は、企画班アンケートに意見・要望・アイデアを頂き有難うございました。昨今、住民の考え方は様々で、多様化が進んでいます。そんな中で、地域を進めて行かなければならない事も、変化しています。住民の皆様に出来るだけ負担の掛からない方法で、効率的に活動出来る様に取り組んでいければと思います。

自主防災班

鈴木健二

今年も全国で大きな火災や自然災害が発生しました。その度に、他人事のように見てしまいますが、当区も土砂災害に見舞われた苦い経験があります。「また来るかも。来てほしくない！来たらどうしよう？」と心配し続けることも、防災に対する備えだと思えます。アンケートの結果では、火事に対する備えが良いが、地震や土砂災害に対しては

無防備なお宅が多いようです。災害の恐ろしさを感じ、起こし、平穏時にこそ防災への備えを強めていくことが肝要だと、あらためて痛感しました。

交通安全班

原 隆雄

KSCの活動に携わり、活動内容を実感出来ました。アンケートを集計し、まだまだKSCの知名度の低さを感じました。一月には区内での交通死亡事故の発生。区民の高齢化、抱える問題は山積です。漆戸地区横断歩道への信号機設置の活動も進めつつ、今後交通死亡事故ゼロ。事故ゼロを目指し今後も活動をします。皆様のご指導ご支援をお願いいたします。また、今回の署名活動に對しまして区民の皆様にご協力をお願いしましたことに對し、御礼申し上げます。

生活環境班

丸山澄雄

区民のボランティア活動は、多くの方が参加してい

るが協働に對して感心が、年々薄れてきた。協働不要の意見も少しあり、またアンケート無回答者も多くKSC活動に對して異議があるのかな？と感じられる。感震ブレイカーは知っているが、必要ない、の方も多々。次回のチャンスに購入希望者は何人か？個人の安全に對する対応は様々と感じ。空き家の増加・区民の高齢化に對し、現役世代は負の遺産対応を今から心掛て欲しい。

家庭安全班

小笠原義尚

班の活動の基本は☆「高齢者、障害者、一人暮らしの心の支え」☆「心労相談、作業手助け」☆「ふれあい活動の促進」等です。

そのため主に以下の活動をしています。☆「ふれあいサロンの運営協力」や「安全について啓蒙や軽体操の実施」☆「ひよこの会の活動支援」☆「民生児童委員、生活介護サポーター等による情報収集と対処」

役場・公民館・社協等の広報等を参考に於いて区民の意識が一層向上する様期待します。